

がんで後悔しないためのヘルスリテラシーってなんだ？

実施報告書

平成 29 年度沖縄県がん患者等支援事業

●事業概要

がんについての有効な情報提供に関する取り組みとして、講演会「がんで後悔しないためのヘルスリテラシーってなんだ？」を開催した。

●実施概要

・日時

平成 29 年 11 月 19 日（日）午前 11 時 30 分～午後 1 時

・会場

沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室

・参加数

65 人

・内容

講演会

・目的

がん患者やその家族等、情報取得者の視点を踏まえ、適切な情報選定及び有効な情報提供に関する取り組みを行う。

・主催

琉球大学医学部附属病院 がんセンター

・広報手段

告知チラシ／ポスターの配布、プレスリリース発行

●プログラム

開始	終了	所要時間	内容	担当
11:00	11:30	30分	開場	がんセンター 安里/又吉
11:20	11:25	5分	配布資料確認	がんセンター 又吉
11:30	11:35	5分	開会 主催者あいさつ	琉球大学医学部附属病院 がんセンター長 増田昌人
11:35	12:35	60分	がんとヘルスリテラシー	聖路加国際大学 看護情報学 教授 中山和弘先生
12:35	12:55	20分	質疑応答	
12:55	13:00	5分	閉会	

●講師

名前	所属	担当
中山 和弘	聖路加国際大学 看護情報学 教授	講演

●スタッフ

名前	所属	担当
増田 昌人	琉球大学医学部附属病院 がんセンター長	主催者/司会進行
安里 君代	琉球大学病院 がんセンター 県地域統括相談支援センター	受付/記録/会場
又吉 未央	琉球大学病院 がんセンター 県がん患者等支援事業	事務全般/マスコミ対応

●チラン配布先 (267)

医療施設 (29)

アドベンチストメディカルセンター／おもろまちメディカルセンター／ちばなクリニック
医療法人おもと会 大浜第一病院／医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
医療法人葦の会 オリブ山病院／医療法人敬愛会 中頭病院／医療法人仁誠会 名嘉病院
医療法人八重瀬会 同仁病院／医療法人友愛会豊見城中央病院／医療法人緑水会 宜野湾記念
病院／沖縄セントラル病院／沖縄協同病院／沖縄県立南部医療センターこども医療センター
沖縄県立北部病院／沖縄赤十字病院／沖縄徳洲会 南部徳洲会病院／県立宮古病院
県立中部病院／県立八重山病院／特定医療法人 沖縄徳洲会 中部徳洲会病院
特定医療法人仁愛会 浦添総合病院／独立行政法人国立病院機構沖縄病院／那覇市立病院
南部病院／北部地区医師会病院／与勝病院／琉生病院／琉球大学病院

各団体 (7)

一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会／一般社団法人沖縄県薬剤師会
沖縄県医師会／沖縄県臨床心理士会／沖縄産業保健総合支援センター
沖縄労働局／公益社団法人沖縄県看護協会

患者サロン／患者会 (12)

サバイバーナースの会「ぴあナース」／ぴんくぱんさあ／まんま宮古／ゆうかぎの会
一般社団法人沖縄県がん患者会連合会事務局／沖縄県婦人科がん患者会 宇宙船子宮号
公益財団法人 がんの子どもを守る会 沖縄支部／舌(ゼツ)キャンサー／サークル
多発性骨髄腫おきなわ患者の／中北部喉摘者友の会
特定非営利法人 日本喉摘者団体連合会沖縄県友声会／日本オストミー協会

看護大 (8)

沖縄看護専門学校／沖縄県立看護大学／学校法人湘央学園浦添看護学校
公益社団法人北部地区医師会 北部看護学校／中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校
那覇市医師会 那覇看護専門学校／名桜大学／琉球大学

専門的がん診療機関 (3)

マンマ家クリニック／宮良クリニック／那覇西クリニック

保健所 (6)

沖縄県中部保健所／沖縄県南部保健所／沖縄県北部保健所／宮古福祉保健所
那覇市保健所／八重山保健所

集会所・公民館 (77)

愛知県自治会／安次嶺自治会館／伊良波公民館／浦添グリーンハイツ公民館
浦添ニュータウン自治公民館／浦添市立中央公民館／越来公民館
翁長公民館／翁長自治会／沖縄市立芸能館／沖縄市立中央公民館／屋富祖公民館
嘉数公民館／喜友名公民館／宜保公民館／久場川市営住宅自治会／久場川町公民館
宮城公民館／宮城自治会館／鏡水ふれあい会館／具志自治会館／経塚自治会
県営愛知高層住宅自治会／県営渡橋名団地自治会／古謝公民館／呉屋コミュニティーセンター
幸地公民館／高良自治会館／根差部公民館／座安公民館／三原公民館／山川町公民館
字豊見城公民館／若狭公民館／諸美里公民館／小橋川公民館／小波津集落センター
小禄自治会／小禄南公民館／松川公民館／上間公民館／上大謝名自治会／上野自治会館
城間公民館／森川自治会／真嘉比自治会館／真玉橋公民館／真志喜区自治会
勢理客公民館／西原自治会／西原町字小那覇自治会／赤嶺自治会／前島町民会館
大謝名区公民館／大道公民館／沢岬自治会／中央公民館／仲間自治会館／饒波多目的集会施設
長堂公民館／鳥堀団地自治会集会所／津花波公民館／渡嘉敷集落センター
渡橋名公民館／登川市営団地集会所／当間自治会館／内間公民館／繁多川公民館
繁多川自治会／比屋根自治会／平園自治会公民館／豊見城ニュータウン自治会
豊見城団地南分譲自治会集会所／牧港公民館／明道公民館／与儀八三会館／与根公民館

図書館（39）

沖縄県立図書館／うるま市立勝連図書館／うるま市立石川図書館／うるま市立中央図書館
浦添市立図書館／沖縄市立図書館／宜野湾市民図書館／宮古島市立城辺図書館
宮古島市立平良図書館／宮古島市立平良図書館北分館／糸満市立中央図書館／石垣市立図書館
那覇市立若狭図書館／那覇市立首里図書館／那覇市立小禄南図書館／那覇市立石嶺図書館
那覇市立中央図書館／那覇市立繁多川図書館／南城市立図書館玉城分館／南城市立知念図書館
南城市立図書館佐敷分館／南城市立図書館大里分館／豊見城市立中央図書館／与那原町立図書館
牧志駅前ほしぞら図書館／名護市立中央図書館／村立図書館／あやかりの杜図書館
恩納村文化情報センター／宜野座村文化センター図書館／今帰仁村立図書館
多良間村立図書館／渡名喜村立中央図書館／読谷村立図書館／嘉手納町立図書館
金武町立図書館／西原町立図書館／南風原町立図書館／北谷町立図書館／本部町立図書館

その他（3）

県立博物館美術館／リレーフォーライフうらそえ／アフラックサービスショップ 首里店

社会福祉協議会（42） 役所・役場（41）

●メディア紹介 (WEB/ラジオ/新聞)

- ・ FM21 (浦添コミュニティラジオ)
- ・ ぴらつか暦 (イベント情報ポータル)
- ・ カレンド沖縄 (ウェブマガジン)
- ・ 沖縄タイムス 11/15

<p>がん患者支援 19日講演会 中山和弘教授招き那覇で</p> <p>琉球大学医学部付属病院がんセンターは19日午前11時半から、那覇市の県立博物館・美術館で、聖路加国際大学看護情報学教授の中山和弘氏を講師に招き、がんとヘルスリテラシーに</p>	<p>関する講演会「がんで後悔しないための『ヘルスリテラシー』ってなんだ？」を開く。県委託事業の「がん患者等支援事業」の一環で入場無料(先着100人)。同センター長の増田昌人さんは「昨今、医療情報の信頼性が問われており、科学的根拠に乏しい情報でも検索サイトの上位</p>	<p>に掲載されるなど、インターネットの情報は玉石混交で有益な情報を選び取るのは至難の業だ」と説明。「信頼できる情報をどのように集め、理解し、活用すればいいかについて専門家の話を聞いてほしい」と来場を呼び掛けた。問い合わせは同センター、電話098(895)1374。</p>
---	---	---

- ・ レキオ 11/16

生ごみ堆肥を使った野菜作り。野菜の苗と土をプレゼント ☎0980-43-0254 [ECO人やんばる]

■がんとヘルスリテラシー 19日(日)11:30~13:00
県立博物館・美術館 無料 内容:ヘルスリテラシー研究の第一人者から、がんになっても自分らしく生きるための情報の集め方、活用の仕方などを学ぶ 講師:中山和弘氏(聖路加国際大学) 定員:100人(先着) ☎098-895-1374 [琉球大学医学部附属病院がんセンター]

■楽読の楽しく学べる速読講座 19日(日)13:00~15:00 那覇市緑化センター講習室 1000円要申し込み ☎098-862-1947 [那覇市緑化センター]

- ・ ほ〜むぷらざ 11/16

講演会

◆沖縄国際大学 沖縄法政研究所 研究会「戦後沖縄における社会調査の変遷に関する基礎的研究」 11月17日(金)15時~16時30分。同 大13号館1階会議室。報告者=高橋順子氏(同特別研究員/日本女子大学非常勤講師)。司会・コメンテーター=黒柳保則氏(同所員/冲国大法学部教授)。事前申し込み不要。参加無料。同研究所(事務窓口:研究支援課) ☎098-893-7967

◆家族のあり方 11月19日(日)19時~21時30分。浦添市でだこホール(市民交流室)。家族を支えるために奮闘中の方や夫婦関係、人間関係、子育て中、親の介護などで頑張る方に贈るメッセージ。料金=前売り1000円(当日500円増し)。県長寿春回プロジェクトチーム(田盛) ☎080-1713-3060

◆がんで後悔しないための「ヘルスリテラシーってなんだ？」 11月19日(日)11時30分~13時(開場11時)。県立博物館・美術館 博物館講座室。信頼できる健康情報の見極め方を学ぶ。講師=中山和弘氏(聖路加国際大学教授)。定員100人(先着順)。参加無料。※飲食持ち込み不可。琉球大学医学部附属病院がんセンター ☎098-895-1374

●開催風景

・会場



・会場入口



・聴講者



・聴講者



・開会あいさつ



・講演会



・講演会



・講演会



協会に対し、7月、竹富町と合同で星空保護区認定を申請した。現在、協会と両市町の間で条件整備に向けた調整を進めている。

「治療法、患者が選択を」

中山氏がヘルスリテラシー推奨

【那覇】琉大医学部付属病院がんセンターは19



講演する中山氏。がん患者や克服した人から積極的な質問や意見が出た。19日、県立博物館・美術館

日、講師に聖路加国際大学看護情報学部教授の中山和弘氏を迎え「がんの後悔しないための『ヘルスリテラシー』ってなんだ？」をテーマにした講演会を開いた。会場にはがん患者など約50人が詰めかけた。

「ヘルスリテラシー」について中山氏は「健康を決める力」と定義。健康に関する正しい情報を得て理解し、自分で評価、意思決定して行動する考え方で、海外の医療現場

では広がつつあるとした。

がん患者など大病を患った人は医師の診断をうのみにせず、多くの治療法のメリットとデメリットを分析し、本人に合った治療法や生き方を選択すべきとした。

日本人のヘルスリテラシーについて欧米やアジア各国と比較すると低いと主張。高い値を示したオランダの場合「教育現場でも幼少期から健康教育に力を入れている」と紹介した。

患者が治療法を選択する医療が広まるよう自身が開発した「意思決定ガイド」を薦めたいとし、複数の治療法を選択肢として並べ、長所と短所を分かるように表示する「自分の価値観にあった治療法を納得して選択肢するよう医師や看護師が支援すべき」とした。

周囲の畑に被害を与えているイノシシを追い込み、捕獲。85ポウラスの大物イノシシを含む5頭など計7頭以上の駆除に成功した。

新人4人中の一人で、

が速くなかったかもしれないが、照準にきたので撃つたところ、イノシシがボテッと倒れ、びっくわした」と笑顔で初仕留めを喜んでた。

5ポウの大物を討止めた

この大物は、足のサ

●全体総括

①企画背景

今年度のがん患者等支援事業では、がんサポートハンドブックでカバーしきれない情報活用に関する2本の講演会を企画開催した。「医師とのコミュニケーション（実施済：宮古島市立城辺図書館）」と、この度の「ヘルスリテラシー」である。

どちらも本事業を通じて見聞きした現状や課題がベースとなっており、ヘルスリテラシーに関しては「先生が全部知ってるさ〜」「はいそれをお願いします」という患者自らが考えることをしない風潮が企画の背景にある。しかし当然ながら、信頼できる医師に任せることを否定するものではない。まずは患者側が、選択肢があることを知り、その上で医師に一任することも含め、納得できるがん治療を選択するために「ヘルスリテラシー」という言葉の意味と概念を持ち帰ってもらうための講演会である。

②成果

まず、ヘルスリテラシー研究の第一人者である中山和弘教授に講師を務めていただいたことを、成果のひとつとして挙げたい。中山先生とは初見であったが、本講演について早々に快諾のお返事をくださり講演が実現した。沖縄ではまだまだ聞かれない分野での貴重なご講演に心より感謝申し上げたい。

当日の聴講者は65人であった。講演は、ヘルスリテラシーから意思決定支援への流れで進んだ。信頼できる情報を集めるヒントの「い／な／か／も／ち《出典：聖路加国際大学》」（いつ？）（なんのために？）（かいた人は？）（もとネタはなに？）（ちがう情報と比べた？）や、自分の価値観で選択肢を選ぶことができる「意思決定ガイド」の紹介は、聴講者にとって実践的かつ即効性のある情報提供であった。「健康を決める行為を『ヘルスリテラシー』という“言葉”で考えることが大事」であり、ヘルスリテラシーが低いと起こり得るパターンを「死にやすい。病気になりやすい。救急車をすぐ呼びやすい」と端的に説明し、自分の命にかかわることを自分の価値観に基づいて選択すべき、とした。

質疑応答では、会場から4人が発言した。「医療者が提供する情報に質のバラつきを感じる。患者が選びやすい情報を入手するためには？」との問いには、意思決定ガイドの表を活用することをすすめたい、との答えであった。予定時間を超過しても活発に意見が交わされ、講演会は幕を閉じた。

事務的な成果としては、限られたスタッフ数でありながらトラブルなく終えられたこと、会場のキャパシティに対し程よい集客数があったこと、である。とくに集客数については本事業初となる本島での開催であり広報規模に検討を重ねたが、結果としてチラシ配布と無料のイベント掲載にとどめたことが、会場に適した集客につながったものと評価している。

③課題

アンケート結果に「がんと銘打っているが、あらゆる疾病に適した内容で、がんを学びたい立場としては少々肩すかしであった。リテラシーを行使するための学びはあった」との意見があった。ヘルスリテラシーや意思決定は、がんに特化した概念ではない。しかし本講演

は「がんとヘルスリテラシー」がテーマのため、講演前半の一部で紹介された糖尿病の例が印象に残り指摘につながったと推測する。考えられる要因は、事務局から講師へのオーダーの曖昧さ、働きかけが十分でなかったということに尽きる。主催者として、講演のポイントを明確に伝えることを徹底したい。

聴講者は、患者と患者関係者の5割を含む約8割が一般県民であった。講演終了後の質疑の内容を振り返っても、講演テーマをしっかりと捉えた問いが多く、健康意識の高さが伺えた。反面、ヘルスリテラシーが低い人はこうした場に足を運ばないというジレンマは依然として残る。

④今後の展望

これまで本事業では、おきなわ がんサポートハンドブックの発行を柱とし、講演会等を開催しながらがんに関する情報提供を展開してきた。講演会の来場者は十数人規模から50人を超える盛況な回とさまざまだったが、どの会場も共通して働き盛り世代の参加が少ない。また実施形態から「ついでに参加した」「たまたま耳にした」ケースはないに等しく、ほぼテーマに興味関心のある人だけが集まっている。このことから従来形では、「働き盛り世代」「興味関心のない人」に働きかけることができない。

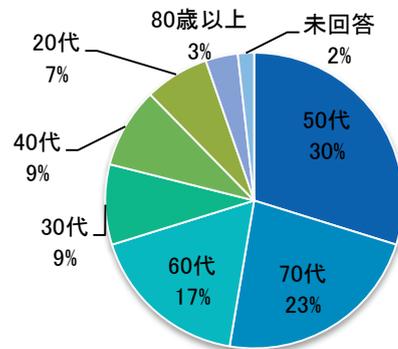
「働き盛り世代」については、多忙に配慮し、講演形態そのものを検討した上で、親近感を抱くテーマを選定したい。一方の「興味関心のない人」にも、患者や家族を含んでいる場合があることから、やはり適切な情報提供を検討の必要があるが、ヘルスリテラシーが低い人へのアプローチは容易ではない。

がんを自分ごととして捉える仕掛けや、周囲との関係性のなかでがんの知恵の輪を築ける仕組みに、本事業がわずかながらでも貢献できればと考える。

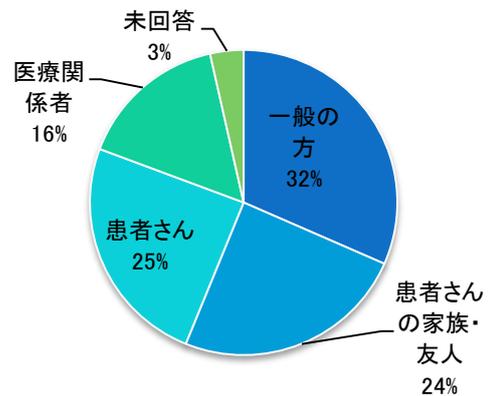
がんとヘルスリテラシーに関する講演会 アンケート

回収数
57 / 65

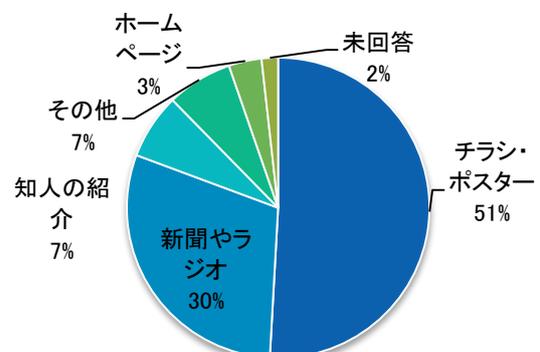
1.あなた年齢を教えてください	
50代	17
70代	13
60代	10
30代	5
40代	5
20代	4
80歳以上	2
未回答	1
総計	57



2.あなたのお立場として、近いものにチェックしてください	
一般の方	18
患者さんの家族／友人	14
患者さん	14
医療関係者	9
未回答	2
総計	57

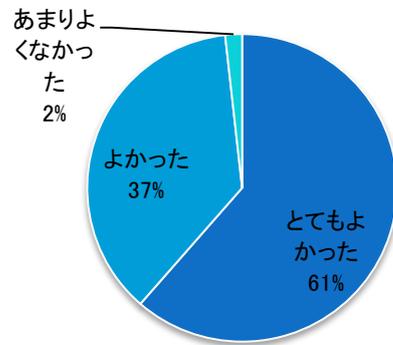


3.本日の講演会を、なにでお知りになりましたか？	
チラシ／ポスター	29
新聞やラジオ	17
知人の紹介	4
その他	4
ホームページ	2
未回答	1
総計	57

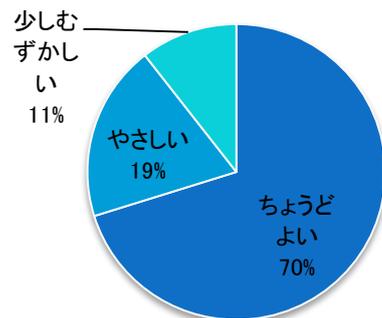


がんとヘルスリテラシーに関する講演会 アンケート

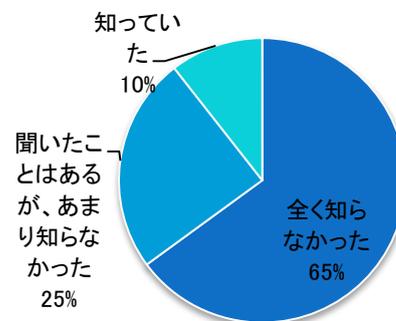
4.講演会の内容について、どう思われましたか？	
とてもよかった	35
よかった	21
あまりよくなかった	1
総計	57



5.講演会のレベルはいかがでしたか？	
ちょうどよい	40
やさしい	11
少しむずかしい	6
総計	57



6.「ヘルスリテラシー」という言葉を知っていましたか？	
全く知らなかった	37
聞いたことはあるが、あまり知らなかった	14
知っていた	6
総計	57



がんとヘルスリテラシーに関する講演会 アンケート

7. 今後、取り上げてほしい講演テーマがあればお書きください。(本日の感想も含む)

「意思決定に関するテーマ」今後重要。人生をどう歩んでいくか～終わりの決定など、パラダイムシフトのなかでそのような意識・価値の改革が必要です。
「尊厳死について」「緩和ケア」お願いします。
がんと食事の関係(女性に多い乳がん)
がんと生殖について。2016年聖路加国際大学で中山先生の講義を受け、大変勉強になりました。現場においても学びを深め、ヘルスリテラシーの向上に努めたいです。不妊治療においてもがんの生殖領域においても考えを取り入れ、組みこんでいこうと思います。
がんと銘打っていらっしゃるが、あらゆる疾病、事象に適合した内容だと思います。がんを学びたい立場としては、少々肩すかしな感じでした。リテラシーを行使するための学びはありました！ありがとうございました！笑い、大事ですね。途中ご自身の写真を入れているのはおもしろかったです。意思決定ガイドの実技があると良いのでは？
がんになったときに取ってしまうサプリメントとの相互作用や使用可能なサプリについてのテーマ。
がんの予防に関すること、沖縄のがん患者の統計に関することなど、現状について知りたいです。
がん患者の食事、栄養学について。(術後、経過観察になったとき、食事等気を付けたいが病院の栄養指導は必要ないと言われ、栄養などどうして取ったらいいかわからなかった。
がん手術の後のリンパ浮腫についての講演。
ゲノム医療に関する情報、遺伝子解析情報。
どうしたら健やかに生きられるのか。
意思決定ガイドを使ったロールプレイがある内容の講座、講演会。
医療者にもヘルスリテラシーの考え方を広めていただきたい。患者になって初めて耳にする医療用語は難解です。わかりやすく話していただくことが意思決定をしやすくなり、緩和ケアにもつながるのではないのでしょうか。
家族の援助の仕方について。
患者の家族の立場、考え方、対応。
患者力をつける(強くする)ことについて。
少子高齢化社会について。
人々のヘルスリテラシー、健康になる(決める)力を高める教育的な講演会をもっとやってほしい。特に沖縄は必要。
生活習慣病について。
先生と患者とコミュニケーション。
代替医療等について。
長い間、腑に落ちないでいたことに道が開けた感じがします。
統合医療について。
難病について。
日頃から運動する人ががんになりやすいか、データがあれば。
病気の最新治療法の紹介(保険適用の)

折	新頁	旧頁	部	章	節	内容	イラスト	写真	補足
表紙	表1	表1				※「患者必携」トル、2017→18、平成29年→30年		1	
	表2	8,9				がんや療養生活について詳しく知るには	1		旧p9、書影等
	表3	10				がんの冊子			書影
	表4	表4				お問い合わせ		1	
	背	背				※「患者必携」トル			
綴り込み	別1	New	概要版	外	表1	がんと告げられたあなたへ	1		新規
	別2	New		外	表1左	落ちこむのは自然なこと	1		旧p14
	別3	New		内	左	がんといわれたとき、すぐ役立つヒント&リスト	1		旧p18
	別4	New		内	中	別3:見出し、リード、1、2			
	別5	New		内	右	別4:3~6 別5:7~10			
	別6	New		外	表4	診断から治療までの流れ			
1	1	1	前付	扉		※「患者必携」トル、2017→18、平成29年→30年		1	
	2	2		序		はじめに		1	
	3	3		目次		目次1		3	
	4	4				目次2			
	5	4~7				目次3			
	6					目次4			
	7			目次&凡例	目次5/情報2018年1月現在/コチラもCheck!	1		旧p8クイナ	
	2	9		11	第1部	第1部扉		納得して治療を受けたい	
10		12	第1部リード			リード		1	
11		13		※写真横長に、テキストは右ページの写真下					
12		38	1	1		がん相談支援センター			
13		39		1		■沖縄県内のがん相談支援センター	1	写真なし	新規:相談風景
14		40		1、2		*北部~/沖縄県医療安全相談センター	1		新規:ようこそ
15		64		体験談		●私を支えてくれたもの			
16	16	2	1	がん治療と療養の過程(ライフコース:)図左部					
17	16		1	がん治療と療養の過程(ライフコース:)図右部					
3	18	23	納得して治療を受けたい	2	標準治療と科学的根拠(エビデンス)		1	♪ていんさぐぬ花	
	19	New		3、4	臨床試験/その他の治療				
	20	New		5	補完代替療法	1		旧p21セリフ変更	
	21	New		6	妊娠の可能性を残す				
	22	17		3	1	病名、性質、病期			
23	15	2	主治医の説明を聞く						
24	34,32	3、4	セカンドオピニオン/セカンドオピニオン実施施設						
4	25	32,33	納得して治療を受けたい	4	*北部地区~那覇西クリニックまかび				
	26	30		5	書籍とインターネットで情報をさがす			サイト画面	
	27	31		5	*がん情報サイト~臨床試験				
	28	24,26		4	1、2	がん診療拠点病院~/~専門医療機関			
	29	New,26			2、3	*沖縄県保健~/希少がんと小児がんの~		1	♪いったーあんまー
	30	24,27			4	がん診療を行っている沖縄県内の病院			
	31	24,27		4			1		旧p26
	32	New		5	離島とがん				

折	新頁	旧頁	部	章	節	内容	イラスト	写真	補足	
5	33	28	第2部	4	5	* 離島における～、療養場所ガイドシリーズ全8巻			書影8巻	
	34	22			体験談 ●緩和ケア	1				
	35	35		第2部扉		よりよい療養生活をおくるために		1		
	36	36		第2部リード		リード		1		
	37	37				※写真横長に、テキストは右ページの写真下				
	38	52		第2部	1	1	緩和ケア外来・緩和ケア病棟(ホスピス)			
	39	53				1	* 緩和ケア外来・入院の手順	6		
	40	54				2、3	がんの終末期医療を～／がん終末期患者の～	1		
6	41	55	4			グリーンケア		1	♪白雲節	
	42	42	2		1	患者会		1	♪花ぬ風車	
	43	43			1	■友声会～■中部ゆんたく交流会				
	44	44			1	■小児がん～■術後オストメイト				
45	45	1			■皮膚がん～■無声帯	1		旧p47テーブル		
46	46	1	■その他の患者会		1	♪弥勒節				
47	47	1	■院内患者会～スマイルQ	なし						
48	48	1、2	* ひまわりの会～／患者支援団体							
7	49	49	第3部	3	3	患者サロン～* やいまゆんたく会				
	50	50			3、4	■乳がん～／沖縄県地域統括相談支援センター	1			
	51	41			体験談 ●闘病仲間					
	52	82			1	外見ケア	1		書影2点	
	53	New		2	さまざまな身体的症状への対応					
	54	New		3	がんとセクシャリティ	1		新規:ベッドの男女		
	55	New		体験談	がん治療と向き合う					
	56	56		4	1、2	訪問診療／訪問看護				
8	57	57	3		介護保険					
	58	58	4、5		福祉用具・介護用品の貸与／介護タクシー					
	59	59	6、7		高齢者の相談窓口／ファミリーサポートセンター					
	60	60	5	1	入院中の教育支援・復帰支援			森川学校写真		
61	61	1		■院内学級の特色～■～に転入するとき	1					
62	62	1、2		* 転学の流れ／ファミリーハウス						
63	63	3		入院中のきょうだい支援	1		書影、新規イラスト			
64	63	4、5、6	退院後および～／一次預かり事業～							
9	65	65	第3部	第3部扉		お金のことについて		1		
	66	66			第3部リード		リード		1	
	67	67				※写真横長に、テキストは右ページの写真下				
	68	68		1	1	高額療養費制度	1			
	69	69			1	* 高額療養費自己負担限度額、* 例47歳男性				
	70	70			1	□70歳以上の方の場合				
	71	71			2、3	高額療養～～認定証／標準負担額～			認定証画像	
	72	72			4、5、6	～貸付制度／～合算制度／確定申告～				
73	73	6	■計算方法、■対象となる～			1	♪安里屋ユンタ			
10	74	74	第3部	1	7	その他の制度				
	75	75			7	□申請に必要な書類、■志村、■こうのと	1			
	76	76			7	■佐藤きち子、■淳彦基金				
	77	77			体験談 ●自分の病気を子どもに伝える					
	78	78		2	1	労働問題全般についての相談	1			
	79	79			1、2	* 社会保険労務士会／治療と仕事の両立支援				
	80	79,80			3、4	生活から就職まで／医療機関での就労相談	なし			

